

# 高浜市長 所信表明演説（平成 21 年 9 月議会）

平成 21 年 9 月 24 日

## 【はじめに】

お許しをいただきましたので、私の所信表明を申し上げます。

このたびの市長選挙におきまして、市民各位をはじめ、各方面からの力強いご支援、温かいご厚情を賜り、市政をお預かりさせていただくことになりました。高浜市を創建されました初代・井野市長、基盤整備など高浜市発展の基礎を育まれました二代・石川市長、そして、20 世紀から 21 世紀へと時代の大きな転換点にあつて、高齢社会の到来や地方分権といった時代潮流をいち早く受け止め、常に先手を打つという姿勢で「持続可能な自立した基礎自治体」としての礎を築かれました三代・森貞述市長。今日の高浜市があるのは、これまでの多くの方々のたゆまぬご労苦の賜物によるものであると承知しております。みなさまから寄せられた負託の重みを厳粛に受け止め、改革の歩みを止めることなく、市政運営に最善を尽くす所存です。

私は、元は瓦製造に携わっていたこともあり、常に現場を大切にしていまいりました。「現場は宝の山」という言葉がございますが、現場である地域へ足を運び、自分の目で確かめ、市民の皆さまの声に耳を傾けてこそ、高浜市が置かれている状況を真に把握することができる。現場を知らなければ、問題や課題に気づくこともなく、それに対応する行動を起こすこともなくなってしまいます。今、市民の皆さまが行政に期待していることは、地域の問題を行政・高浜市の問題と捉えてお返しすることができるかどうか、それが試される時代にある、と考えております。私ども行政は、現場である地域へどんどん足を運び、なぜそうなっているのか、なにを、どのようにしたらいいのかといった、もっともふさわしい解決策を市民の皆さまと対話をしながら見出し、スピードと誠意を持って、共に行動することをモットーとしてまいります。そうしたことが、きちんと行われることによって始めて、市民の皆さまの信頼を得られるようになる、そう考えています。

人口も経済も右肩上がりという時代は終わりを告げ、限られた資源を有効活用するために、選択・集中が求められています。「高浜市にとって本当に必要な施策は何か」を市民の皆さまと共に考え、ご理解・ご納得をいただきながら市政運営を進めていくことが不可欠でございます。景気の低迷、財政状況の悪化という逆境の今だからこそ、将来に向けての基礎づくりとして、アシタのチカラとなる「高浜市の根っこ」を創り上げていくチャンスであると考えております。

## 【ローカル・マニフェストについて】

さて、選挙戦において掲げたローカル・マニフェスト、いわゆる政権公約は、今後 4 年

間で取り組む、29項目にわたる政策目標と達成期限等についての市民の皆さまとの「契約書」でございます。高浜市のアシタのチカラを築いていくために、バランスのある持続可能なまちをつくるための取り組みである「ツツケルチカラ」、市民の皆さまと行政がより力を発揮できるようにつなげ、市民の皆さまが自信と誇りを持てるまちをつくるための取り組みである「ツナガルチカラ」、活気があり、楽しく住めるまちをつくるための取り組みである「ノビルチカラ」、誰もが安心して住み続けられるまちをつくるための取り組みである「ツツムチカラ」という4つの方針を掲げ、「すぐに実行」「2年以内に実行」「4年以内に実行」と達成期限を明確化しておりますが、4年という期間は、長いようで非常に短いことから、達成期限に関わらずスピードを持って、市民の皆さまに見える形で実行してまいります。

### 【目標①ツツケルチカラ】

まず、はじめに「ツツケルチカラ」、バランスのある持続可能なまちをつくるための取り組みですが、将来世代にツケを残さず、必要なサービスを安定的に提供していくために、事業仕分けと行政評価の手法を活用してまいります。事業仕分けとは、市役所が実施している事業について、必要か、必要でないか、必要ならば行政が行うべきか、民間でも行えるものか、行政で行うのならば従来の方法を見直す必要はないか、といったように、市役所が実施する事業についてゼロから見直すというもので、こうした過程を経る中で、真に必要な分野への重点化を図ることが可能であり、市民の皆さまに「納得のいく経費で納得のいく効果」を提供してまいりたいと考えています。目標は2年以内に実行としておりますが、現在、来年度予算の指針となる実施計画の策定を進めていることから、町内会の代表、まちづくり協議会の方、あるいは現在、第三者評価委員会の委員を務めていただいている方に、試行的に事業仕分けに関わっていただく予定でございます。将来的には公開制での実施を考えております。

公共施設はそれぞれに目的をもって整備されてまいりましたが、年月の経過や社会的意義、需要の変化に伴い、見直さざるを得ない状況となっております。そこで、「公共施設のあり方検討市民会議」を立ち上げ、施設を利用する市民の皆さまの立場から、今後のあり方を検討してまいります。2年以内の実行が目標でございます。

環境に配慮したエネルギーの活用推進として、太陽光などを利用したLEDによる街灯・防犯灯や、避難地に指定されている都市公園に災害時の非常用電源としてハイブリッド公園灯を設置してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

昨年9月議会において、議員提案により「みんなでまちをきれいにしよう条例」が制定されましたが、空き缶等のポイ捨てのない「快適で美しく住みよいまち」を実感できるよう、制度の周知を図るとともに、環境美化推進員と指導員の連携により、地域の環境美化の維持・向上に努めてまいります。これは、すぐに実行してまいります。

衣浦大橋の渋滞緩和解消事業として、衣浦大橋東交差点の立体化による交通の円滑化と安全対策の向上を図るための工事について、早期進展が図られるよう、県へ積極的に働き

かけてまいります。

### 【目標②ツナガルチカラ】

次に、「ツナガルチカラ」、市民の皆さまと行政がより力を発揮できるようにつなげる、そして市民の皆さまが自信と誇りを持てるまちをつくるための取り組みでございますが、住民自治に基づく市政運営を定めた「自治基本条例」を市民の皆さまを中心として策定します。4年以内の実行が目標でございますが、現在、平成23年度を開始年度とする第6次総合計画の策定に着手しており、この秋から本格的に作業が始まりますので、自治基本条例の素案づくりと総合計画案の検討を同時に進めてまいります。検討にあたっては、「(仮称)高浜市の未来を描く市民会議」を設置し、高浜市にふさわしい自治のあり方について、市民の皆さま、議会、行政が議論を積み重ね、共通認識を深めながら協働で作業を進めてまいりたいと考えております。

いったん行政が市民の皆さまからお預かりした税を、地域でより有効に役立てていただくために、個人市民税の5%の額を「市民予算枠」として、環境、土木、教育、福祉など、地域に直接関わる問題解決に向けて、市民の皆さまと協議、検討を加えながら、用途を決めてまいります。まずは仕組みづくりが必要となりますので、そこからすぐに始めてまいります。なお、来年度からは、子ども医療費無料化もこの「市民予算枠」の中で実施してまいります。

また、使い道を限定した従来の個別補助金等を見直し、地域にその使い道を任せるため、「まちづくり総合交付金制度の導入」を検討してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

冒頭に申し上げた事業仕分けとも関連いたしますが、市民の皆さまに財政状況に関心を持っていただくため、財政状況を市民目線で分析した“わかりやすい予算書”を、市民の皆さまとともに作成してまいります。2年以内の実行が目標でございます。この“わかりやすい予算書”を活用して、高浜市の今の姿をわかりやすくお示しし、市が行う事業や財政のあり方について市民の皆さまと一緒に考え、将来にツケを回さないよう、財政健全化を推進してまいります。

### 【目標③ノビルチカラ】

私は、地域が発展する根本は「人」だと考えています。「人」こそが、高浜市の根っこである。だからこそ、高浜市に産まれてよかったとだけ思っただけのように、また、夢を持ち、再び次の世代へつなげていくことができる若者が育ってくれるようなまちにしていきたいとの想いを強く持っています。

そこで「ノビルチカラ」、活気があり、楽しく住めるまちをつくるための取り組みとして、教育分野の総合計画ともいふべき「教育基本構想」の策定を教育委員会にお願いしてまいりたいと考えております。小学1年生が学校になじめない“小1プロブレム”や小学校から中学校へ進学時に学習や生活の変化になじめないといった“中1ギャップ”の解消、子どもたち一人ひとりの才能や夢を育てる「幼・小・中が連携した教育のあり方」について

の研究といったソフト面のみならず、耐用年数を順次迎える学校の建て替えといったハード面についてもあらゆる角度から問題点を洗い出し、調査、検討をお願いしてまいりたいと考えております。4年以内の実行が目標でございます。

また、子どもから高齢者まで、誰もがより良い人生・充実した人生を送ることができるよう、個人あるいは仲間とともに楽しく「学習したい」「活動したい」という想いを応援する「生涯学習基本構想」を市民参画で策定してまいります。2年以内の実行が目標でございます。

衣浦港高浜緑地の整備に併せ、サッカー、野球、グランドゴルフといった市民が楽しめるスポーツ施設を整備します。4年以内の実行が目標でございます。

活力ある高浜市を創るためには、人づくりと並んで産業振興も重要な政策です。市レベルで行う産業振興は、長期的な視点による基盤づくりと地域に根ざした地場産業や商業等への支援が大切であると考えています。本市にもまもなく到来するであろう超高齢社会に備えて、歩いて行き来できる範囲の中で暮らせるまちづくりといったコンパクトタウンの発想、あるいは若者の起業マインドを育てる、といったことも重要な観点でございます。また、景気回復の兆しは幾分見られるというものの、まだまだ不況というトンネルは続くと思われまます。急激なショックによって経営に苦しんでいる地元企業に対する支援は、特にスピードを持って取り組んでいかねばならないと考えております。そのために、まず、行政の産業部門の強化に、すぐにとりかかってまいります。

市内中小事業者への支援として、経営・技術改善を通して経営基盤、技術競争力等の強化を目指す中小事業者に対して、改善活動に要した費用の一部を補助する「がんばる事業者応援補助金」を創設します。すぐ実行してまいります。

「高浜市企業誘致等に関する条例」を活用して、優良企業の誘致を積極的に推進し、産業の活性化や雇用の機会を増やし、地域経済の振興を図ってまいります。4年以内の実行が目標でございます。

また、地元企業の育成といたしまして、公共工事や物品の調達について、目標値を設けて市内業者を選定する入札制度に改めるなど、地元企業優先発注を推進してまいります。2年以内の実行が目標でございます。

時代に即応した地場産業の支援として、新築時に、瓦屋根にソーラーシステムを設置した場合の費用の一部を支援する制度を創設いたします。すぐ実行いたします。

農業分野では、安定的な農業経営が図られるよう、農業後継者の優秀な人材の確保や経営の多角化のために法人化などを目指す農業経営者を支援してまいります。2年以内に実行します。

また、近年は、地域住民が主体となって、労働力や原材料、技術力といった地域に存在する資源を活用して、商品やサービスの対価を受け取り、利益を追求しながら、地域の課題解決や地域ニーズを満たすためのビジネスとして、コミュニティビジネスが注目を集めています。若者の起業マインドを育てる、あるいは、企業を退職された方々にその能力・

経験等を地域で発揮していただくために、セミナー開催等の人材育成、商品化・実用化に向けた支援、融資、チャレンジショップといった各種支援を実施してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

また、地域資源の活用やチャレンジドの農作業を通じた交流などにより、チャレンジドの「働きたい」という自立への想いを応援してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

#### 【目標④ツツムチカラ】

最後に、「ツツムチカラ」、誰もが安心して住み続けられるまちをつくるための取り組みとして、高浜市で子どもがたくさん生まれ、元気に育っていただくことは最重要課題と捉え、今まで1割負担だった子どもの医療費を、中学3年生まで窓口で無料にします。すぐに実行ということで、今議会において扶助費やシステム改修等の補正予算を計上させていただき、ご可決いただけましたら、来年1月実施を目標に、早速準備にとりかかってまいります。

待機児童の解消や多様化する保育ニーズに対応するため、企業が設置する「事業所内保育施設」や市の独自の基準で認証した「認証保育所」の助成制度を創設してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

幼稚園運営について、民間活力の導入や、預かり保育の推進といった「保育園」の良さを取り入れた柔軟なサービスの実施、地域の子育て支援センターとしての充実化を検討してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

地域で市民が主体となって実施する「子育て・子育て事業」の支援や、放課後の子どもたちの支援として、地域の人たちと交流したり、学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだりすることによって、子どもたちの自主性、社会性などを育む“居場所づくり”を実施してまいります。2年以内の実行が目標でございます。

高齢者が健康で生きがいをもって社会参加ができるよう、“シニア大学”などの学習の機会の提供や、いきいきクラブなど地域で取組む生きがいと健康づくり活動を応援してまいります。2年以内の実行が目標でございます。

超高齢社会への対応として、平均寿命の延伸に伴い、認知症の発症率も高まってまいります。認知症になってもその人らしさを保ち、住み慣れた場所で馴染みの人たちと暮らしていくことができるように、認知症対応型共同生活介護施設である「認知症グループホーム」「地域密着型特別養護老人ホーム」「地域共生型デイケアハウス」といった小規模施設の中から実現可能なものを選択・検討しながら、整備を支援してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

障がいをお持ちの方、そのご家族が地域で安心して生活できるように、障がいをお持ちのお子さんの育ちを、一生を通じて見守り支援をするための専門支援機関として「発達支援センター」を設置してまいります。4年以内の実行が目標でございます。

災害や大規模な事件、新型インフルエンザなど、市民の生命に重大な被害が生じるよう

な緊急事態が発生した場合に、全市をあげて迅速かつ総合的に対応するための危機管理体制を整備してまいります。これは、すぐに実行してまいります。

また、災害時に、子どもも含めたマンパワーを最大限に活かせるよう、地域全体が連携しあう防災ネットワークの構築を支援し、実践にあった防災訓練を実施してまいります。2年以内の実行が目標でございます。

### 【おわりに】

以上、今後の取り組みの一端を申し上げましたが、これらの実行にあたっては議員並びに市民各位のより一層のご支援・ご協力なくしては、成し得ることはできません。今後もより一層のご指導、ご鞭撻を賜ることをお願い申し上げ、所信表明とさせていただきます。